

事 務 連 絡
令和7年7月18日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校主管課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課

御中

文部科学省初等中等教育局教育課程課

戦争がもたらした惨禍と核兵器をめぐる諸課題に関する
学習指導案の作成について（周知）

教育基本法等においては、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた国民の育成が目指されているところであり、関連する教育活動の一層の充実が求められています。

こうした中、本年は戦後80年という節目の年でもあり、昨年12月には、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が、ノーベル平和賞を受賞するなどの動きもあったところです。

このため、文部科学省では、ノーベル平和センターが作成した資料や我が国の資料館等の学習プログラム、NHKによるコンテンツ等も参考とし、我が国の教育課程において、近年の動きにも触れながら、戦争がもたらした惨禍や核兵器をめぐる諸課題をどのように扱えるのかについて、創意工夫を活かした授業づくりを構想する上で、検討の材料となり得る指導案を作成しましたので、地方公共団体等におかれましては、下表のとおり周知をお願いいたします。

なお、指導を行う際には学習指導要領に記載のある事項に留意いただくようお願いいたします。

周知元	周知先
都道府県教育委員会指導事務主管課	所管の学校及び各学校を設置する域内の市（指定都市を除く）町村教育委員会指導事務主管課
指定都市教育委員会指導事務主管課	所管の学校
都道府県私立学校事務主管課	所轄の学校及び学校法人等
附属学校を置く国公立大学法人附属学校主管課	管下の附属学校
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の株式会社立学校事務主管課	所轄の学校及び学校法人等

（本件担当）
文部科学省初等中等教育局教育課程課教育課程総括係
TEL：03-5253-4111（内線：2073）

【参考】学習指導要領における関連記載

○小学校学習指導要領（平成 29 年告示）

第 2 章 各教科

第 2 節 社会

第 2 各学年の目標及び内容

〔第 6 学年〕

2 内容

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(イ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

(ロ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

第 3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第 2 の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(4) 児童の発達の段階を考慮し、社会的事象については、児童の考えが深まるよう様々な見解を提示するよう配慮し、多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導するとともに、特定の事柄を強調し過ぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなどの偏った取扱いにより、児童が多角的に考えたり、事実を客観的に捉え、公正に判断したりすることを妨げることのないよう留意すること。

○中学校学習指導要領（平成 29 年告示）

第 2 章 各教科

第 2 節 社会

第 2 各分野の目標及び内容

〔歴史的分野〕

2 内容

C 近現代の日本と世界

(2) 現代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導すること。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 日本の民主化と冷戦下の国際社会

冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解すること。

(イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界

高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)及び(イ)について現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

- (イ) 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。
- (ウ) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

- (4) 社会的事象については、生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示するよう配慮し、多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導するとともに、特定の事柄を強調し過ぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなどの偏った取扱いにより、生徒が多面的・多角的に考察したり、事実を客観的に捉え、公正に判断したりすることを妨げることをないよう留意すること。

○高等学校学習指導要領（平成30年告示）

第2章 各学科に共通する各教科

第2節 地理歴史

第2款 各科目

第3 歴史総合

2 内容

D グローバル化と私たち

(4) 現代的な諸課題の形成と展望

内容のA、B及びC並びにDの(1)から(3)までの学習などを基に、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

- (7) 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (7) 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

2 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (3) 社会的事象については、生徒の考えが深まるよう様々な見解を提示するよう配慮し、多様な見解のある事柄、未確定な事柄を取り上げる場合には、有益適切な教材に基づいて指導するとともに、特定の事柄を強調し過ぎたり、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げたりするなどの偏った取扱いにより、生徒が多面的・多角的に考察したり、事実を客観的に捉え、公正に判断したりすることを妨げることをないよう留意すること。

戦争がもたらした惨禍と核兵器をめぐる 諸課題に関する学習指導案

<目 次>

・ 本学習指導案について	…p 2	
・ 想定される本学習指導案の活用場面	…p 3	
・ 小学校社会科	学習指導要領における該当箇所・Point	…p 4
・	単元計画の趣旨	…p 5
・	単元計画	…p 6
・ (参考) 小学校教科書関連ページ		…p 8
・ 中学校社会科	学習指導要領における該当箇所・Point	…p 9
・	単元計画の趣旨	…p10
・	単元計画	…p11
・ (参考) 中学校教科書関連ページ		…p13
・ 高等学校地理歴史科	学習指導要領における該当箇所・Point	…p14
・	単元計画の趣旨	…p15
・	単元計画	…p16
・ (参考) 高等学校教科書関連ページ		…p18
・ 【参考】 平和に関する学習を行う際の参考資料		…p19

本学習指導案について

教育基本法等においては、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた国民の育成が目指されているところであり、関連する教育活動の一層の充実が求められています。

こうした中、本年（2025年、令和7年）は戦後80年という節目の年でもあり、昨年12月には、広島と長崎の原爆の生存者「ヒバクシャ」による草の根運動に取り組んできた日本原水爆被害者団体協議会（以下、日本被団協）が、核兵器のない世界の実現を目指して尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを目撃証言を通じて身をもって示してきたことが評価され、ノーベル平和賞を受賞するなどの動きもあったところです。

このため、文部科学省では、ノーベル平和センターが作成した資料や我が国の資料館等の学習プログラム、NHKによるコンテンツ等も参考とし、我が国の教育課程において、近年の動きにも触れながら、戦争がもたらした惨禍や核兵器をめぐる諸課題をどのように扱えるのかについて、先生方が創意工夫を活かした授業づくりを構想する上で、検討の材料となり得る指導案を作成しました。

想定される本学習指導案の活用場面

小学校 社会科

第6学年(2)「我が国の歴史上の主な事象」のアの(サ)「日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催など」での学習が想定される。

中学校 社会科

歴史的分野のまとめであり、公民的分野につながる「C近現代の日本と世界」の(2)「現代の日本と世界」での学習が想定される。

高等学校 地理歴史科

歴史総合における、「Dグローバル化と私たち」の(4)「現代的な諸課題の形成と展望」での学習が想定される。

*上記の学習以外にも、例えば小学校では、第6学年(3)(イ)（グローバル化する世界と日本の役割について、追究・解決する学習）、中学校では、公民的分野「D(1)世界平和と人類の福祉の増大」、高等学校では、世界史探究「E(1)国際機構の形成と平和への模索」、公共「C持続可能な社会づくりの主体となる私たち」など、児童生徒、学校や地域の状況を踏まえ、指導計画上、適切かつ効果的な学習として発展的に扱うことや、生徒が探究する課題として選択した際に、今回の受賞に関わる資料を活用することも想定される。

単元計画例：小学校社会科 第6学年（2）「我が国の歴史上の主な事象」

※小学校学習指導要領（平成29年告示）p59

学習指導要領における該当箇所

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

（サ）日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

（シ）遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

（ア）世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

Point

次頁に示すものは、「日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦」に対応する内容についての単元計画例である。単元の導入として、年表や写真などの資料を活用し、単元全体で追究する学習の問題を見童とともに設定し、日中戦争やその後のアジア・太平洋地域での戦争、国内の体制、戦争の終結などについて調べ、戦争が国内や外国に与えた影響などについて理解を深めることが目指されている。

単元計画例：小学校社会科 第6学年（2）「我が国の歴史上の主な事象」

単元計画 「平和な国や社会をめざして―戦争と戦後の再出発―」（1）「戦争と人々の暮らし」

単元計画の趣旨

学習の導入となる時間（1時間目）において、年表や写真などの資料を活用して問いをつくる。

「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」に示されている「広島・長崎への原子爆弾の投下など、国民が大きな被害を受けたことが分かること」（p.123）を踏まえ、単元の学習の問題を追究する時間（5時間目）において、原子爆弾の投下の実態や被害の大きさを、原子爆弾が投下された状況などの写真資料や被爆体験された方々の言葉（文章資料や映像資料等）から学習するとともに、児童が単元の学習の問題追究の時間やまとめの時間において、戦争による国内外への「影響」について考える。その際、戦争の惨禍が人々の生活などにどのような影響を与えたのかを考える際の資料として、参考資料①②などを活用する。

単元計画例：小学校社会科 第6学年（2）「我が国の歴史上の主な事象」

単元計画 「平和な国や社会をめざして―戦争と戦後の再出発―」（1）「戦争と人々の暮らし」

学習過程	時間	主な学習活動	評価規準等
単元の学習の問題設定	1	<p>年表や写真を基に日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦などに着目し、学級全体で話し合い、単元全体で追究する学習の問題をつくる。</p> <p>【単元の学習の問題】長く続いた戦争は、どのような影響を与えたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国との戦い ・ 第二次世界大戦 ・ 戦時中の国民生活の様子 ・ 戦争の終わり 	<p>○世の中の様子や影響などに着目し、問いを見いだしている。</p> <p>○学習問題の解決の見通しをもっている。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年表、写真 ・ 教科書
	2	<p>中国との戦争について調べる。</p> <p>【問い】中国との戦争は、どのような戦争だったのだろうか。</p>	<p>○資料で調べ、中国全土に戦線が拡大していったことを理解している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図、写真、文章資料 ・ 教科書
単元の学習の問題追究	3	<p>第二次世界大戦について調べる。</p> <p>【問い】戦争は、どのように広がっていったのだろうか。</p>	<p>○資料で調べ、戦争が世界に広がったことを理解している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図、写真、文章資料 ・ 教科書

単元計画例：小学校社会科 第6学年（2）「我が国の歴史上の主な事象」

単元計画 「平和な国や社会をめざして―戦争と戦後の再出発―」（1）「戦争と人々の暮らし」

学習過程	時間	主な学習活動	評価規準等
単元の学習の問題追究	4	<p>戦争中の国民の生活の様子について調べる。</p> <p>【問い】戦争中、人々はどのような生活をしていただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦時体制の国民生活の様子について調べる ・国内各地への空爆による被害や影響を調べる 	<p>○資料で調べ、戦争中の国民生活の様子を理解している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書
	5	<p>戦争の終わりなどについて調べる。</p> <p>【問い】戦争は、どのようにして終わったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄戦や広島・長崎への原子爆弾の投下による被害や国民生活への影響を調べる ・戦争の終わりについて調べる ・戦争による被害や国民生活への影響を調べる 	<p>○資料で調べ、戦争が終結したことを理解している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料、映像資料 ・原子爆弾の投下や、被害を受けた人々の様子（参考資料①参照） ・日本被団協のノーベル平和賞受賞理由（参考資料②参照） ・教科書
まとめ	6	<p>単元の学習の問題についてまとめる。</p> <p>【問い】長く続いた戦争は、国内や外国にどのような影響を与えたのだろうか。</p>	<p>○戦争がもたらす被害の大きさについて考え、表現している。</p> <p>○戦争により国内や外国が大きな被害を受けたことを理解している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料

(参考) 小学校教科書関連ページ

教科書発行者名	教科書名	該当ページ
東京書籍株式会社	新編 新しい社会 6 歴史編	・ p128-p141
教育出版株式会社	小学社会 6	・ p204-p219
日本文教出版株式会社	小学社会 6 年	・ p196-p213

学習指導要領における該当箇所

※中学校学習指導要領（平成29年告示） p52,53

(2)現代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導すること。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 日本の民主化と冷戦下の国際社会

冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解すること。

(イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界

高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)及び(イ)について現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(ウ) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

Point

中学校学習指導要領社会（歴史的分野）の内容C(2)イ(ウ)の「これまでの学習を踏まえ、(略)現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって(略)考察、構想し、表現すること」とは、適切な課題を設定し、歴史的分野の学習を踏まえて考察、構想し、表現できるようにすることを通して、公民的分野の学習に向けた課題意識をもつことができるようにすることが目指されている。

単元計画 「現代の日本と世界の諸課題」

単元計画の趣旨

参考資料①②などを活用し、平和を取り巻く現代の諸課題について考える。現代の日本や世界の課題の一例として、核兵器をめぐる諸課題を扱い、これまでも、その解決のために様々な人々の努力が重ねられてきていることに気付くことができるようにする。

なお、日本被団協のノーベル平和賞受賞理由や様々な立場に基づく取組に関する関係資料を活用し、現在と未来の日本や世界の在り方について、考察、構想し、意見交換をしながら考えをまとめる活動を想定している。

単元計画 「現代の日本と世界の諸課題」

過程 学習	時間	主な学習活動	評価規準等
課題把握	1	<p>○平和を取り巻く現代の諸課題について、例えば、核兵器に着目して、核軍縮に向けた様々な取組や日本被団協のノーベル平和賞受賞などをきっかけに追究する課題を考える。</p> <p>【課題・問い】(例)「なぜ核兵器をめぐる問題が現代でも議論されているのか。 核兵器の何がどのように問題なのか。」</p>	<p>○平和を取り巻く現代の諸課題について、課題を見いだしている。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料
課題追究	2 3	<p>○学習課題について歴史で学習してきたことを振り返ったり、資料を収集して読み取り、次の点について考察したり、まとめたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核兵器はいつからあるのか ・他の兵器と比較して、核兵器の特徴や国際社会に与える影響はどのような点があるのか ・自分自身や自分が住む地域との関わりはないか ・どのような立場や取組があるのだろうか ・どのように解決することができるのか 	<p>○歴史で学習してきたことを振り返ったり、諸資料から社会的な見方・考え方を働かせて必要な情報を読み取ったりして、適切にまとめている。</p> <p>○核兵器の持つ特徴について、熱線、爆風、放射線などの基本的な要素や、その後の国際社会や人々への影響などの側面から説明することができる。</p> <p>○現代社会の課題の一つを、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【参考（資料）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料

単元計画 「現代の日本と世界の諸課題」

過程 学習 時間	主な学習活動	評価規準等
課題 解決・ 新たな 課題	<p>4 ○現代の諸課題についてまとめたものを発表し合う。</p> <p>○歴史の学習を振り返り、公民の学習にかかわる見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> <p>1 時間目の課題「なぜ核兵器をめぐる問題が現代でも議論されているのか。核兵器の何がどのように問題なのか。」について、これまでの学習を踏まえて解決できていない理由について再度話し合い、その解決のために必要なことについて意見を交換する。</p> </div>	<p>○冷戦期と冷戦以後の核兵器をめぐる争点の変化や、今日における核兵器をめぐる状況を考察し、核兵器廃絶の取組について構想している。</p> <p>○歴史の学習を振り返り、自身の学びを確認し調整しようとしている。</p>

(参考) 中学校教科書関連ページ

教科書発行者名	教科書名	該当ページ
東京書籍株式会社	新編 新しい社会 歴史	・p238-239・p270-273
教育出版株式会社	中学社会 歴史 未来をひらく	・p270-271・p281-282 ・p287-291
株式会社帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	・p270-271・p304-309
株式会社山川出版社	中学歴史 日本と世界 改訂版	・p249-251・p282-283
日本文教出版株式会社	中学社会 歴史的分野	・p272-273・p292-299
株式会社自由社	新しい歴史教科書	・p278 ・p286-287
株式会社育鵬社	新しい日本の歴史	・p238-239・p278-279
株式会社学び舎	ともに学ぶ人間の歴史	・p258-259・p279-281
令和書籍株式会社	国史教科書 第7版	・p451-453・p455-456

単元計画例：高等学校地理歴史科「歴史総合」D「グローバル化と私たち」

※高等学校学習指導要領（平成30年告示）p60

学習指導要領における該当箇所

(4) 現代的な諸課題の形成と展望

内容のA、B及びC並びにDの(1)から(3)までの学習などを基に、持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

Point

高等学校の「歴史総合」は、生徒が近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する科目である。

D(4)は、「歴史総合」のまとめであり、それまでの学習の成果を活用し、生徒が持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、歴史的な経緯を踏まえた現代的な諸課題の理解とともに、諸資料を活用して探究する活動を通し、その展望などについて考察、構想し、それを表現できるようにするものである。

単元計画例：高等学校地理歴史科「歴史総合」D「グローバル化と私たち」

単元計画 「現代的な諸課題の形成と展望」

単元計画の趣旨

本単元計画は、生徒が「現代的な諸課題の形成と展望」について探究する際、例えば、「核兵器」をめぐる状況について現代的な諸課題としての理解を深め、その解決に向けた取組を探究する学習活動を想定して示したものである。

「核兵器」をめぐる諸問題・諸課題の推移について、例えば、日本被団協のノーベル平和賞受賞の理由やその意味・意義及び様々な立場に基づく取組に関する資料を収集し、既習の多様な歴史的な事象との関わりを考察して、諸課題の解決に向けて、よりよい社会の実現を視野に考察・構想し、表現することを想定している。

単元計画例：高等学校地理歴史科「歴史総合」D「グローバル化と私たち」

単元計画 「現代的な諸課題の形成と展望」

過学習 時間	主な学習活動	評価規準等
課題把握	<p>1 ○平和を取り巻く現代的な諸課題について、例えば、核軍縮に向けた様々な取組や日本被団協のノーベル平和賞受賞などをきっかけに生徒が探究する主題を考える。</p> <p>【探究する主題】(例)核兵器の影響と平和に向けた取組(探究する問い)「なぜ核兵器をめぐる問題が現代でも議論されているのか。これまでにどのような取組が行われ、これから私たちに何ができるのか。」</p>	<p>○生徒が平和を取り巻く現代的な諸課題について探究する課題や問いを見いだしている。</p> <p>【参考(資料)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料
課題追究	<p>2 ○核兵器が世界に与えた影響や核兵器に関わる取組について、これまでの歴史の学習で学んできたことを整理するとともに、核兵器をめぐる問題についての資料を収集し、分析する。</p> <p>3</p>	<p>○第二次世界大戦における広島・長崎への原子爆弾の投下により、日本は空前の戦禍を被ったことを理解しているとともに、人体、社会、環境等を与える長期的な影響などに着目し、核兵器がもたらす甚大な被害について考察している。</p> <p>○米ソが保有する核兵器数のグラフなどを収集・活用して、冷戦初期、米ソ両国が核兵器の開発に象徴される軍備拡張競争を始めたことを理解している。</p> <p>○資料を活用して、米ソの核開発競争の経緯や変化に着目し、部分的核実験禁止条約、核兵器不拡散条約など、国際社会における核兵器の管理などの取組がみられたこと、安全保障政策との関わりや、その後の課題について説明することができる。</p> <p>【参考(資料)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料

単元計画例：高等学校地理歴史科「歴史総合」D「グローバル化と私たち」

単元計画 「現代的な諸課題の形成と展望」

過 学 程 習	時 間	主な学習活動	評価規準等
課題追究	4	○様々な立場やその取組について調べ、核兵器がこれまでの日本や世界に与えた影響について考察、構想する。	○冷戦期と冷戦以後で核兵器をめぐる争点がどのように変化したのかについて多面的・多角的に考察し、核兵器廃絶の取組について構想している。 【参考（資料）】 ・写真、文章資料 ・教科書 ・参考資料①②などの資料
課題解決・新たな課題	5	○構想したことを踏まえて、今後自分たちはどのように対応していくべきかという展望につなげ、結論をレポートなどにまとめる。 <div data-bbox="236 819 1156 1058" style="border: 1px dashed #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;">【助言や支援の例】核兵器をめぐる対立や葛藤を乗り越えるためにはどのような考え方が必要なのか、また、何を重視して考えることが大切となるのだろうか、など、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究、解決に向けた考察、構想を促すように留意する。</div>	○まとめたことを基に、他の生徒と意見を交換したり、クラス全体へのプレゼンテーションなどの場面で説明したりすることができる。
	6	○自らの探究活動を振り返る。	○主題について、これまで探究してきた過程を振り返り、自分が学んだことの意味について考察し、表現している。

(参考) 高等学校教科書関連ページ

教科書発行者名	教科書名	該当ページ
東京書籍株式会社	新選歴史総合	・p152-153 ・p192-197
東京書籍株式会社	詳解歴史総合	・p170-171 ・p173 ・p210-215
実教出版株式会社	詳述歴史総合	・p197-199 ・p234-239
実教出版株式会社	歴史総合	・p158-159 ・p190-195
株式会社清水書院	私たちの歴史総合	・p92-93 ・p106-107 ・p134-135
株式会社帝国書院	明解 歴史総合	・p159-160 ・p169 ・p195-197
株式会社山川出版社	歴史総合 近代から現代へ	・p180 ・p200-201 ・p235-236
株式会社山川出版社	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	・p180-183 ・p242-243
株式会社山川出版社	わたしたちの歴史 日本から世界へ	・p128-131 ・p160-163
株式会社第一学習社	高等学校 歴史総合	・p160-161 ・p178-179 ・p214-217
株式会社第一学習社	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	・p164-167 ・p170 ・p196-199
株式会社明成社	私たちの歴史総合	・p131 ・p144-145 ・p174-177

【参考】平和に関する学習を行う際の参考資料①

○国立原爆死没者追悼平和祈念館 (厚生労働省委託)

<https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/project/exhibition/index.html#a01>
<https://www.peace-nagasaki.go.jp/towanokai-rodokukai/4157?vi=1>



- ◎被爆体験・映像の閲覧
- ・体験記や証言映像をインターネットで公開
 - ・企画展で上映した映像をインターネットで公開
- (暁部隊 劫火へ向カヘリ - 特攻少年兵たちのヒロシマー 等)

○平和祈念展示資料館 (帰還者たちの記憶ミュージアム) (総務省委託)

<https://www.heiwakinen.go.jp/goriyou/school/>



- ◎「兵士」、「戦後強制抑留」、「海外からの引揚げ」について
- ・館内展示／バーチャル資料館
 - ・語り部お話し会 (ライブラリー)
 - ・オンライン平和学習プログラム
- などにより平和学習を支援



○しょうけい館 (厚生労働省委託)

<https://www.shokeikan.go.jp/guide/onlineprogram>

- ◎オンライン学習支援プログラム
- ・オンライン会議システムを用いて学校の教室としょうけい館を結びスタッフが授業を実施
- 中学生、高校生以上
(45分～50分程度)



○被爆体験伝承者等派遣事業 (厚生労働省委託)

<https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/project/successors/>
<https://www.peace-nagasaki.go.jp/densho-haken>



- ◎被爆体験を次世代へ継承するため、国立原爆死没者追悼平和祈念館において、被爆体験の伝承者・証言者等を小中高校等へ派遣する事業



○昭和館 (厚生労働省委託)

<https://www.showakan.go.jp/about/rental-kit/>

- ◎昭和館の貸出キット (内容)
- 「グラフィックパネル」
 - 「実物資料」
 - 「オーラルヒストリー (証言映像)」



○平和の語り部事業 (厚生労働省補助事業)

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_57367.html

- ◎先の大戦の記憶の風化を防ぎ、平和の尊さを次世代に伝承するために全国各地で語り部活動を実施する事業 (活動方法)
- ①講話型
 - ②対話型
 - ③体験型



広報用動画
掲載先



【参考】平和に関する学習を行う際の参考資料②

○キッズ外務省

(外務省HP)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/>



◎外務省や世界の国々について、「知る」、「調べる」、「遊ぶ」ことができるたくさんのコンテンツをおとどけしています。

- ・動画で学ぼう！において「核兵器のない世界」について動画（約4分）を公開



○外交青書2025

(外務省HP)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100826205.pdf>



◎外交青書は、国際情勢の推移及び日本が行ってきた外交活動を取りまとめたものとして、毎年発行されています。

- ・2025年版では、p211以降に核軍縮等についての記載があります。



○NHK for School 戦争について考えてみよう

<https://www.nhk.or.jp/school/article/sensou.html>

◎NHKの過去映像等を用いて、「戦争について考えてみよう」というテーマで学校向けに様々な映像資料をまとめた特集ページ。

- ・戦争の証言 ・原爆の記憶



○NHK 戦争を伝えるミュージアム

<https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/special/warmuseum/>

- ◎動画や画像などを活用して、太平洋戦争などをわかりやすく説明
「太平洋戦争 なぜ開戦したの？」
「原爆が使用されたのはなぜ？」
「どのような被害があった？」など



NHK 戦争を伝えるミュージアム

○ノルウェー ノーベル平和センターHPより

① 日本被団協の受賞理由について：

[https://www.nobelpeaceprize.org/getfile.php/136972-1729322916/Taler/2024/Announcement Nobel Peace Prize 2024%20Japanese.pdf](https://www.nobelpeaceprize.org/getfile.php/136972-1729322916/Taler/2024/Announcement%20Nobel%20Peace%20Prize%202024%20Japanese.pdf)

② ノーベル平和センター教材（英語）：

<https://www.nobelpeacecenter.org/utdanning/leksjoner/fredsprisleksjonen-2024-engelsk>



①日本被団協受賞理由



②ノーベル平和センター教材 20